

令和7年度の全国的な豪雨災害について

1 令和7年8月大雨被害～九州地方で大雨特別警報など～

8月6日から11日にかけて前線が日本列島に停滞。局地的に猛烈な雨が降り、鹿児島県、鹿児島県、熊本県をはじめ、九州全域で断続的に線状降水帯が発生し、熊本県に大雨特別警報を発表した。西日本各地（京都府、石川県、広島県など）でも大雨被害が発生した。

- ・ 8月6日～11日 鹿児島県、熊本県、福岡県では、6日から11日にかけて24時間降水量が400ミリを超え、鹿児島県霧島市では500ミリを超える記録的な大雨となった。

この大雨において、気象庁は8日から11日に、鹿児島県、熊本県を対象に大雨特別警報を発表した。この大雨の影響で、九州地方を中心に、河川の氾濫、浸水害、土砂災害が発生し、人的被害、住家被害等が発生した。この他、京都府、石川県、広島県などで、大雨による道路冠水や土砂災害等が発生した。

(全国の被害状況)

※全国の被害状況は8月21日時点の総務省集計及び8月14時点の内閣府集計によるもの。

被害状況

- ・ 人的被害 死者8名、負傷者25名
- ・ 住家被害 全壊12棟、半壊56棟、一部破損111棟
床上浸水3,404棟、床下浸水4,331棟

河川氾濫等の発生状況

- ・ 45水系65河川
(菊池川水系繫根木川、緑川水系濁川等)

土砂災害発生状況

- ・ 74件(福岡県10、長崎県10、熊本県10、大分県1、鹿児島県10、その他全国33)

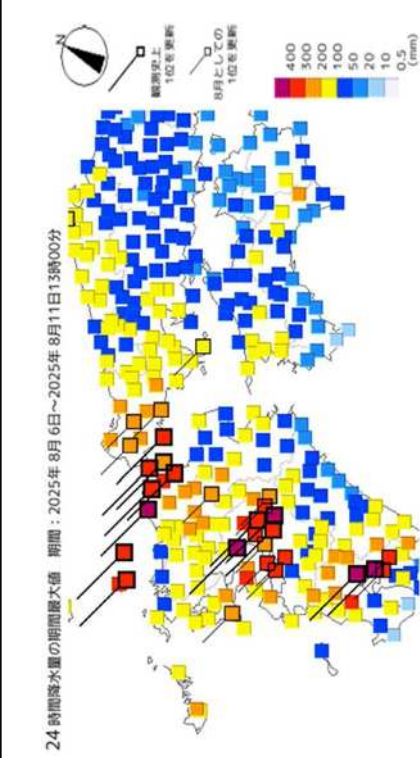
(京都市の被害状況)

被害状況

- ・ 人的被害 負傷者2名
- ・ 住家被害 一部破損1棟
- ・ 道路被害 崩土1件、倒木4件、その他3件

鹿児島県(奄美地方を除く)	鹿児島県(奄美地方を除く)	鹿児島県(奄美地方を除く)	鹿児島県(奄美地方を除く)	鹿児島県(奄美地方を除く)	鹿児島県(奄美地方を除く)	鹿児島県(奄美地方を除く)
線状降水帯が発生	線状降水帯が発生せず	線状降水帯が発生	線状降水帯が発生せず	線状降水帯が発生	線状降水帯が発生せず	線状降水帯が発生
呼びかけを要する	呼びかけを要しない	呼びかけを要する	呼びかけを要しない	呼びかけを要する	呼びかけを要しない	呼びかけを要する
約130ミリ	約170ミリ	約150ミリ	約200ミリ	約190ミリ	約250ミリ	約250ミリ

出典：気象庁HP



出典：国土交通省報道発表資料

順位	都道府県	市町村	地点	期間最大値		備考
				mm	年月日 時分(まで)	
1	鹿児島県	霧島市	牧之原(マキノハラ)	515.5	2025/08/08 08:00	観測史上1位の値を更新
2	鹿児島県	霧島市	溝辺(ミゾベ)	506.5	2025/08/08 12:50	観測史上1位の値を更新
3	熊本県	玉名市	岱明(タイメイ)	445.5	2025/08/11 13:00	観測史上1位の値を更新
4	熊本県	上益城郡山都町	山都(ヤマト)	419.0	2025/08/11 13:00	観測史上1位の値を更新
5	福岡県	宗像市	宗像(ムナカタ)	414.5	2025/08/10 20:10	観測史上1位の値を更新

令和7年度の全国的な豪雨災害について

2 令和7年9月の台風第15号による大雨・竜巻被害

9月3日南大東島付近で発生した台風第15号は、5日1時頃高知県に上陸し、5日9時頃に和歌山県に再上陸した。その後、東日本太平洋側を時速約60kmで東進し、太平洋沿岸部を中心に被害が広がった。

- ・9月3日～5日 台風15号と前線の影響により、西日本から東日本の太平洋側を中心に記録的な大雨となった。特に静岡県では5日に線状降水帯が発生し、24時間降水量が350ミリを超える大雨となり、記録的短時間大雨情報(合計11回)発表された。また、静岡県牧之原市から吉田町にかけて、過去最大級の竜巻が発生し、風速75m/sを記録した。この竜巻により、静岡県各地で大きな被害が発生した。

(全国の被害状況) ※被害状況は9月22日時点の総務省集計によるもの。

被害状況

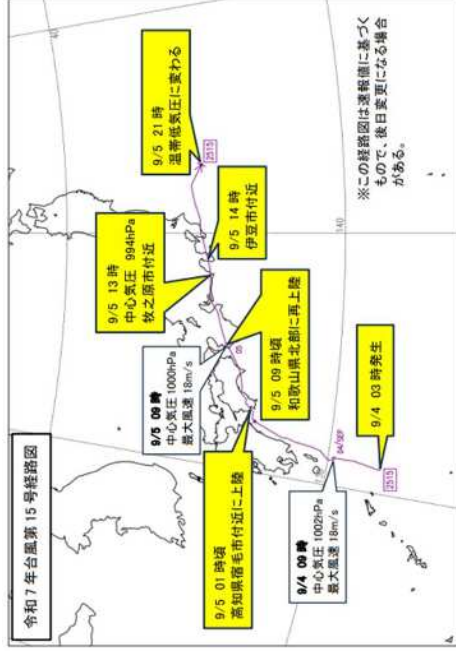
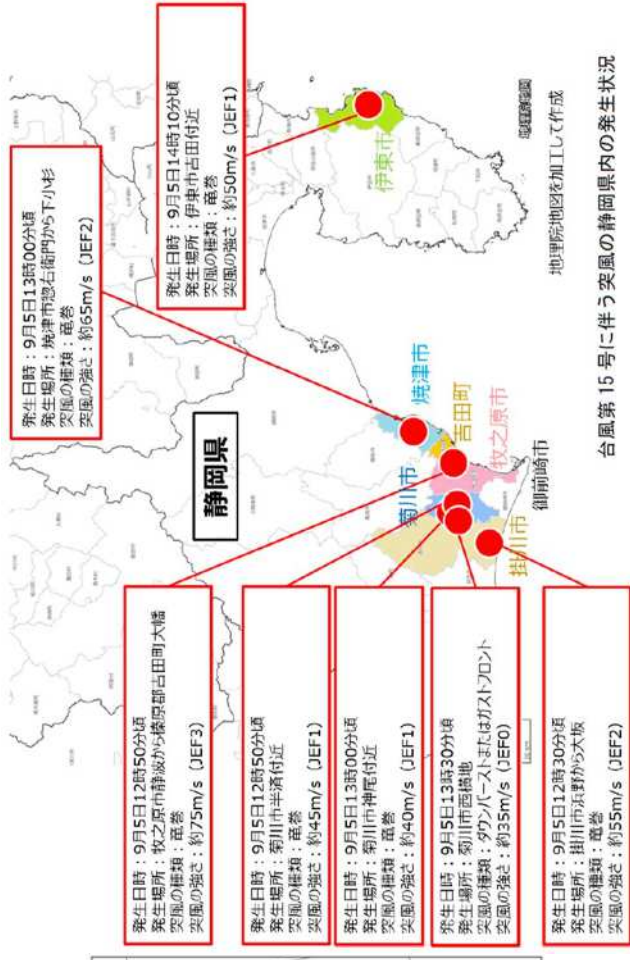
- ・ 人的被害 死者2名、負傷者90名
- ・ 住家被害 全壊36棟、半壊169棟、一部破損1,085棟
- ・ 床上浸水1,054棟
- ・ 床下浸水1,325棟

(静岡県の被害状況)

被害状況

- ・ 人的被害 死者1名、負傷者83名
- ・ 住家被害 全壊35棟、半壊143棟、一部破損943棟
- ・ 床上浸水31棟
- ・ 床下浸水333棟

(京都市域に大きな被害なし)



出典：静岡地方気象台発表資料

台風第15号に伴う突風の静岡県内の発生状況

出典：気象庁報道発表資料

令和7年度の全国的な豪雨災害について

3 令和7年9月の大雨被害～東京都・三重県における記録的短時間大雨～

9月11日から13日にかけて、南東または東からの湿った空気が日本列島に流れ込み、大気の状態が非常に不安定となり、東日本から西日本にかけて大雨となった。

- ・9月11日～13日 東京都では局地的な雨雲が発生し、11日に大雨となった。この大雨で大雨警報、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報を発表した。三重県北部ではこの大雨の影響で、住宅の浸水、停電、鉄道の運休等が発生した。四日市市では、1時間降水量で123.5ミリとなり、統計開始以来の記録を更新し、地下駐車場でも車両274台が水没するなどの被害が発生した。

(東京都の被害状況)

被害状況

- ・人的被害 なし
- ・住家被害 床上浸水1,231棟
床下浸水363棟
- ・その他 道路冠水
停電、倒木

※被害状況は、被害の大きかった品川区、世田谷区、目黒区、大田区からの情報提供によるもの。



三重県四日市市
地下駐車場浸水被害状況
(浸水収束後)

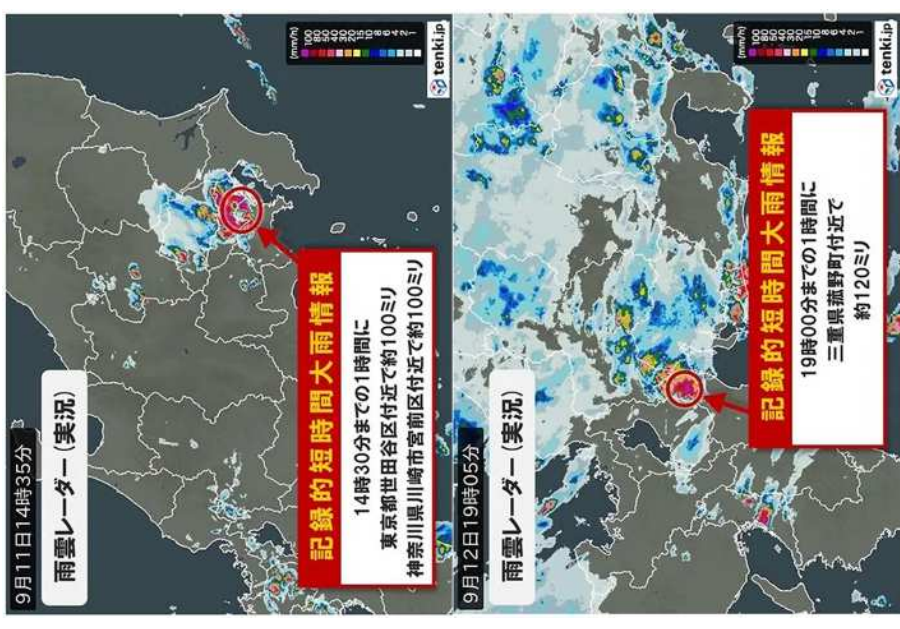


(三重県の被害状況)

被害状況

- ・人的被害 なし
- ・住家被害 床上浸水204棟
床下浸水3,118棟
- ・その他 通行止め 5箇所
停電 500戸
地下駐車場 274台水没

※被害状況は9月19日時点の
津地方気象台集計によるもの。



出典：国土交通省報道発表資料

出典：日本気象協会発表資料

(京都市域に大きな被害なし)